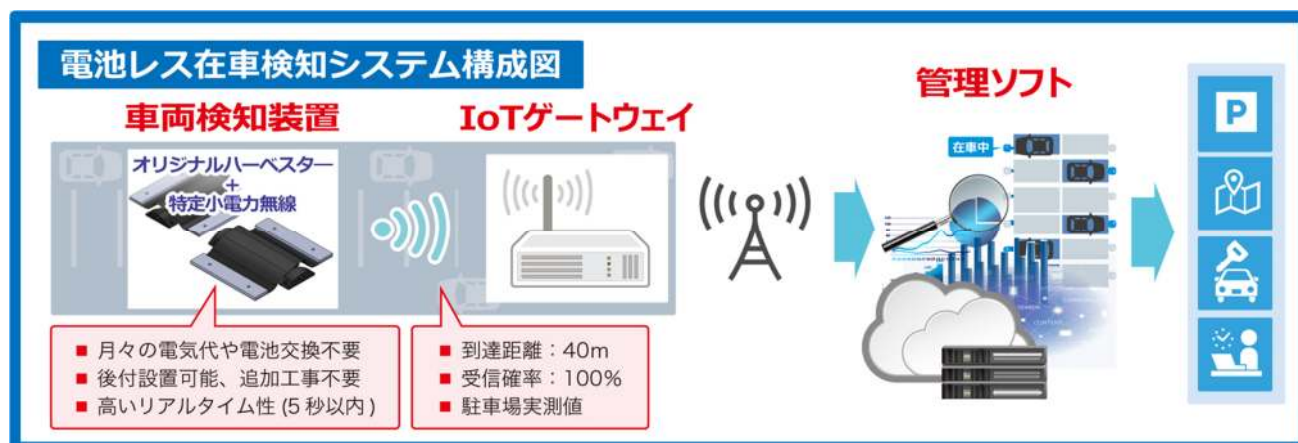


駐車場 IoT 革命、電源・電池・配線いらずの在車検知システムを開発

- 赤外線、超音波、マイクロ波、ループコイル、磁気、カメラに代わる新たな検知方式 -

アダマント並木精密宝石株式会社(以下、アダマント並木)は、平面駐車場や自走式立体駐車場及び機械式立体駐車場の在車管理において、初期投資や維持管理を大幅に削減できる駐車場事業者及び IT ソリューションサービス事業者向け在車検知システムを開発しました。本システムの実証実験を株式会社駐車場総合研究所及び有限会社大宮駐車場の協力の下、2018年4月10日から開始いたしました。

本システムは、車両の入出庫を検知する「独自技術の電源・電池・配線レス車両検知装置」、車両検知装置とサーバーをつなぐ「IoT ゲートウェイ」、クラウド上もしくはローカルネットワーク内のサーバーで利用可能な「管理ソフト」の3つで構成されます。



車両検知装置にはアダマント並木が独自に開発したエナジーハーベスティング技術(国内特許及び国際特許出願中)とロームグループのラピスセミコンダクタ株式会社が提供する「Lazurite920J」を搭載しており、タイヤが車両検知部分を踏むことで電力を生み出し、その電力を使い在車空車の情報を無線送信します。

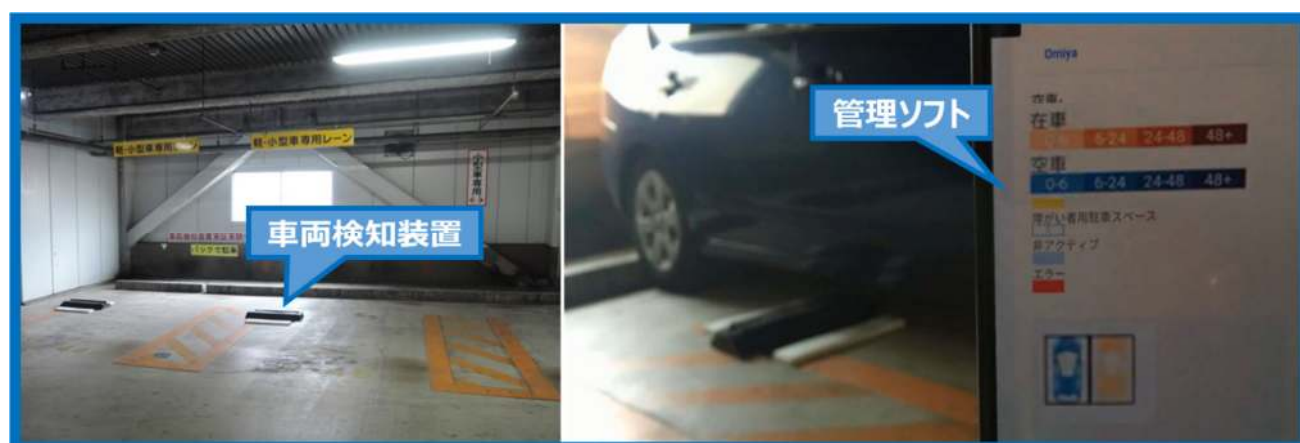
よって、車両検知装置は電源レス・電池レスのため月々の電気代が不要で、電池の充電や交換も不要となります。さらに、配線レスのため車両検知装置の設置や交換も容易で、大掛かりな設置工事や電源工事も不要であり大幅な費用低減が見込めます。

また、車両検知装置はタイヤが検知部分を踏んだ直後に無線送信するため、ほぼリアルタイムで確実な在車空車を判定することが可能で、不正駐車・長時間駐車など異常検知やセキュリティ強化も可能です。

本システムにより、駐車場事業者及び IT ソリューションサービス事業者は、各駐車場の初期投資や維持管理を大幅に低減することができ、採算の合わない小規模な土地や観光地、イベント開催時の臨時駐車場の短期間での開設や撤去、駐車スペースが区切られていない空間など効果的な運用も可能となります。また、駐車スペース毎の正確なリアルタイム満空情報の提供や予約決算サービスなど収集データのインテリジェント分析による顧客満足向上や、到着・出発・駐車時間の把握など行動分析を活用したユーザーエクスペリエンスの向上も期待できます。

本システムは、自動車だけでなくバイク、自転車、人を検知することも可能です。また、在車検知と通過検知の使い分けも可能であり、ソフトウェアサードパーティーと専用システムを構築することが必要ですが、駐車場以外の用途に応じてシステムカスタマイズ可能です。

現在、パートナー企業様を募集しております！



<会社概要>

■ アダマンド並木精密宝石株式会社について

アダマンド並木は 1953 年設立以来、オンリーワン製品を開発し、ニッチマーケットを独占することを事業の基本方針としており、その事業領域は工業宝石、半導体、通信、医療理化学、精密機器と広範囲に亘っています。

アダマンド並木は、激変の世界にあって、その機動性を活かし、IoT、AIと続くライフスタイルのドメイン変化に貢献すべく、固有技術を如何なく発揮し、21 世紀のエクセレントカンパニーを目指していきます。

詳しくは、<http://www.ad-na.com/>をご覧ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

アダマンド並木精密宝石株式会社 フォトニクス事業部 事業開発課 藤木 大輔

TEL : 03-3919-1171

Mail : EME-harvester@adamant.co.jp